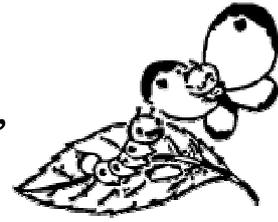


旭幼稚園 “神様の愛に生かされて”



旭幼稚園は1898年、カナダの女性宣教師によって、7人の子どもたちと始められたキリスト教精神の幼稚園です。

神様、イエス様に愛されている私たち1人ひとり。その1人ひとりの命を大切に神様を信じ“自分を愛するように隣人を愛する”心が育つことを願っています。

旭幼稚園の保育は“縦割り自由保育”をとりいれています。

核家族化、少子化の現代。子供同士で遊ぶことが少なく年齢の枠を越えた縦関係で遊ぶことはほとんどありません。旭では縦関係で生活することにより、遊び・ことば・きまりなどの「文化」の伝承が自然に行われています。また一般の幼稚園の子どもたちの生活は、幼稚園にいる殆どの時間、内容を保育者が決め、子どもが“自分で考えて遊ぶ”という時間はありませんが、旭幼稚園では朝と帰りの集まり以外の時間は自分で考え、自分の意思で遊べます。1つの遊びを一日している人、泥だんごづくりでは何日も何日もかけて作っている人、“仲間に入れて”と声をかけて、色々な遊びを楽しんでいる人、じっと友達を観察しおもむろに動き始める人と、様々です。子どもは同じ年齢でも4月生まれと3月生まれ、兄弟、姉妹関係の第一子、第二子などと、生活経験などから一人ひとり発達が変わります。また得意、不得意もあります。ですから子どもが興味を持ち「やってみようかなあ」と、心が動くのを待つのです。

子ども一人ひとりが持てる力を発揮し、一緒に遊びを作り出す保育を行っています。夢中になれば、時間を忘れ集中し取り組みます。プツプツ切れる輪切りの生活は、子どもの持っている力を発揮したくても発揮できず、夢中になって遊ぶということもできなくなり、与えられるのを待つ“指示待ち”の子どもになってしまいます。

旭幼稚園の子どもたちは、身の回りにあるもの全てを使い、心も身体も使って遊んでいます。旭幼稚園の子どもは一日遊んでいるの？**そうです！** 私たちは絵を描くことも、製作をすることも、積み木をすることも、砂遊びも、ままごとも。旭幼稚園での生活全てを**遊び**と考えています。その遊びの中から、多くのことを学び、互いに成長しあっているのが旭幼稚園の子どもたちです。“百聞は一見にしかず”です。色々な時間に親子で遊びにいらして下さい。共に遊ぶ時を過ごし、そして旭をより深くご理解ください。

